

寺田 悅子ピアノ・リサイタル

Etsuko Terada Piano Recital with Kikuo Watanabe



春の夜会 ショパン VS ブラームス

ショパン:ノクターン集

第4番Op.15-1, 第5番Op.15-2, 第7番Op.27-1

第8番Op.27-2, 第13番Op.48-1, 第17番Op.62-1

第20番レント・コン・グラン・エスプレッショーネ(遺作) ※演奏順不同

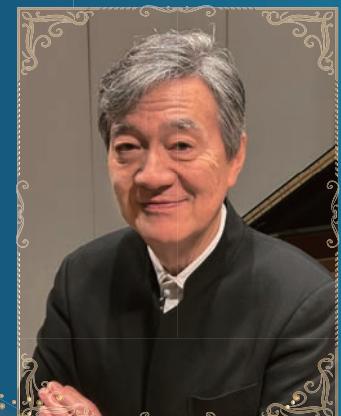
Etsuko Terada plays Chopin's Nocturnes Nos.4, 5, 7, 8, 13, 17 and 20 ※Performance order TBA

渡邊 規久雄とのデュオで聴く

ブラームス: 2台のピアノのためのソナタ ヘ短調 Op.34b

Brahms : Sonata for two pianos in f-minor Op.34b

Etsuko Terada (Piano 1) and Kikuo Watanabe (Piano 2)



2026年4月21日(火)19:00開演 東京文化会館小ホール

7:00p.m., Tuesday, April 21, 2026 at Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall (JR・東京メトロ・京成各線 上野駅(JR公園口正面)

18:30 開場
21:00 終演予定

料 金 (消費税10%込み)

S ¥6,000 A ¥5,000 A学生券 ¥3,000

12月20日(土) 前売開始 ジャパン・アーツぴあオンラインチケット:12月13日(土)

特別割引チケット

◎学生券: ジャパン・アーツぴあ(オンライン, 電話)にて受付いたします。社会人学生を除く
公演当日に25歳以下の学生が対象、ご入場の際に顔写真付き学生証をご提示ください。

◎車椅子席: ジャパン・アーツぴあコールセンター(電話)で事前にご予約ください。

お申込み

ジャパン・アーツぴあ

0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/

東京文化会館チケットサービス (03)5685-0650 t-bunka.jp/tickets/
チケットぴあ t.pia.jp (Pコード315-485)

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com (Lコード 36577)

*曲目・演奏順は変更になる場合がございます *未就学児の同伴はお断りいたします



公演情報 & WEB
申込みはこちら

ピアノ音楽の至宝と二台ピアノ・ソナタの金字塔

寺田悦子

1830年のワルシャワ蜂起を前に故国ポーランドから逃れ、パリの華やかな社交界で絶大な人気を博すピアニストとなったショパンは、39年の短い生涯に21曲のノクターンを書きました。夜想曲とも呼ばれる静かで夢見るような楽想は、ショパンがピアノに託した心の吐露であり、時に情熱的に憧れや孤独までも映し出します。聴き手に媚びることのない昇華された芸術作品として、ショパンの「ノクターン」は独自のピアノ音楽の世界を築きました。

一方 Brahms は1833年北ドイツのハンブルクに生まれました。時はドイツロマン主義まったく中でしたが、彼が理想としたのはバッハやベートーヴェンの古典的な形式美でした。ピアノ音楽のみならず室内楽曲や歌曲も多く手がけ、やがて交響曲作曲家としての名声を得るに至った Brahms が、ウィーンに居を移した30歳ころに作曲したこの『二台のピアノのためのソナタ』は、生涯の憧れの人であったクララ・シューマンとの演奏を念頭に書かれたのかもしれません。しかしウィーンでカール・タウジッヒ(リストの高弟)と試演まで行ったものの、この曲のピアノ音楽を超えたスケールの大きい独創的な楽想は、クララや他の音楽家の指摘もあり、絶余曲折の結果、弦楽器の甘く豊かな響きを加えた『ピアノ五重奏曲作品34』として改訂発表されました。その後二台ピアノ版にこだわった Brahms は1871年に作品34bisとしても出版、今日ではモーツアルトと並ぶ「二台ピアノのソナタ」の金字塔となったのです。

透明感のある音色と豊かな情感で聴衆を魅了し続ける寺田悦子と、シベリウスをライフワークとして演奏活動の中心に据える渡邊規久雄。ソリストとして活躍する二人によるデュオは、2台ピアノや連弾のオリジナル作品、いろいろなスタイルからの編曲作品、2台ピアノのための協奏曲まで、カラフルでエキサイティングな世界の醍醐味を余さず伝えます。近年は《四手連弾の宇宙》シリーズでベートーヴェン、メンデルスゾーン、シューマン、シューベルト、モーツアルト、 Brahms 、ドビュッシーの代表的な作品を取り上げてきましたが、今回は久々にショパンを演奏いたします。

寺田 悅子 Etsuko Terada

16歳でウィーンに留学。在学中に東京でオールショパン・プログラムでデビュー・リサイタルを開いた寺田悦子は、ウィーン音楽大学を最優秀賞で卒業後に渡米。ジュリアード音楽院大学院、インディアナ大学等で研鑽中の1977年、ルーピン・シュタイン自身が審査した第2回ルーピン・シュタイン国際ピアノ・コンクール第3位受賞で注目を集め、翌1978年第6回リーズ国際ピアノ・コンクール入賞、日本ショパン協会賞、飛騨古川音楽賞などを受賞。東京・名古屋・大阪など国内各地でのリサイタルやN響をはじめとする日本の主要オーケストラとの共演はもちろん、「ラハの春」などの国際音楽祭出演、イスラエル・フィル、ヘルシンキ・フィル、ドレスデン・フィル、北BBC響等数多くの海外オーケストラとの共演、英国、ドイツ、フィンランド、ロシア、ラトヴィア、アメリカ、メキシコ、パナマ、ペルーでのソロ・リサイタル、ニューヨークのカーネギーホールでの演奏等、国際的に活躍してきました。日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール全国大会、ピティナ全国大会等数多くのコンクール審査員、ドイツやオーストリアで演奏とマスタークラスを行うなど後進の指導にも積極的です。CDにショパン作品集「ノアンI」「ノアンII」、渡邊規久雄とのデュオ「春の祭典&ラフマニノフ」、シューベルトの連弾作品集「シューベルト奇跡の1828年」他多数。

渡邊 規久雄 Kikuo Watanabe

北欧、特にフィンランド音楽に造詣が深く、中でもシベリウスを生涯のライフワークとして演奏活動の中心に据えている渡邊規久雄。2003年から2023年まで6回にわたったシベリウスのピアノ音楽全曲シリーズがすべてCD化され、シベリウス生誕150年記念の2015年にはNHK-BSプレミアムのクラシック俱楽部『シベリウスの室内楽の世界』に出演、東京と大阪で行ったオール・シベリウス・プログラムでのリサイタルはNHK-FMで放送されるなど、シベリウス・ピアノ音楽の第一人者として活躍してきた長年の功績は、2015年12月にフィンランド・シベリウス協会から歴史と伝統ある《シベリウスメダル》が授与されるという栄誉に結実しました。1974年インディアナ大学を成績優秀賞で卒業、1976年同大学院を修了。1976年7月のデビュー・リサイタル以降、ショパンのポロネーズ全曲、シューベルトの最後の3曲のソナタなどによるリサイタル、ラトヴィアの首都リガやヘルシンキ、東京、大阪、名古屋等での寺田悦子とのデュオ・リサイタル、国内はもとよりサンクトペテルブルグ、モスクワ、ハバロフスクなどでのオーケストラとの共演など精力的に演奏活動を行っています。CDは他に寺田悦子とのデュオや佐藤まどかとのシベリウス・ヴァイオリン作品集など。武蔵野音楽大学ピアノ科特任教授、大阪ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー。



©Akira Muto

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。>

- (1)やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順などが変更になる場合がございます。
- (2)開演時間に遅れますと長時間ご入場をお待ちいただくことになります。
- 演奏中は客席との出入りはできませんので時間には余裕をもってお越しください。
- (3)公演中止を除き、ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- いかなる場合も再発券はできませんので、紛失等には十分ご注意ください。
- (4)すべて指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。
- (5)未就学児の同伴はご遠慮ください。就学児以上の方もご入場にはチケットが必要です。
- (6)場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等電子機器の使用、これらに類する行為は固くお断りいたします。
- (7)ネットオークションなどによるチケット転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- (8)他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただくことがあります。

寺田悦子& 渡邊規久雄とのデュオ・連弾CD 好評発売中!

-レコード芸術特選盤-

寺田悦子&渡邊規久雄 デュオ・ピアノ “春の祭典”

ラフマニノフ:組曲第2番op.17

ストラヴィンスキー:舞踊音楽「春の祭典」

TRITON OVCT-00084

2012年3月7日-9日 富山・北アルプス文化センター



- New Release最新版・2023年6月公演のライブ盤 -

寺田悦子&渡邊規久雄ピアノ連弾
“シューベルト奇跡の1828年”

ロンド イ長調D951, 幻想曲 へ短調D940

弦楽五重奏曲ハ長調D956 <H.ウルリッヒによるピアノ連弾版>

MCClassics MYCL00044 ¥3,300 (税込)
2023年6月25日 東京文化会館小ホール LIVE

